



◀大型の調理器具を備え
約550人の生徒への給食を調理する
綾部中学校の給食室



◀約60人の生徒に
温かい昼食を提供する
八田中学校の給食室

学校給食には、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を伝える役割もあります。新たに始まる綾部中、八田中でも成長期にある生徒の健康を考え、旬の食材を使用し、食文化への理解も深まる充実した内容で安全・安心な給食を提供します。



学校教育課
大槻友紀 管理栄養士

全小・中学校で自校調理
綾部中学校では、木金工室として使用していた建物約260平方メートルを給食室へと改修。併せて木金工室の移設も行いました。事業費は約1億3900万円です。また、八田中学校では約160平方メートルの給食室を新設。校舎との間に渡り廊下も整備しました。事業費は約8100万円です。調理員の研修や食材の納入業者の選定等を経て、5月から給食を開始予定。この2校では従来、昼食時に牛乳のみ提供していましたが、今回の整備により、府内で唯一、全小・中学校で自校調理方式を採用した給食が始まります。

に渡り廊下も整備しました。事業費は約8100万円です。調理員の研修や食材の納入業者の選定等を経て、5月から給食を開始予定。この2校では従来、昼食時に牛乳のみ提供していましたが、今回の整備により、府内で唯一、全小・中学校で自校調理方式を採用した給食が始まります。

市教委が整備していた綾部中と八田中の給食室がこのほど完成。5月から、市内の全小・中学校で、自校調理方式による給食が始まります。

綾部中、八田中に給食室 5月から給食開始

4月29日
午前10時～

あやべ丹の国まつり

丹の国まつりパレード

子ども会や鼓笛隊、スポーツ少年団、武者行列などが市街地をパレード

由良川花庭園(9:45頃)⇒西町アイタウン(10:10頃)⇒
⇒広小路通り(10:40頃)⇒駅南広場(11:00頃)

西町アイタウン

丹の国プロレス、ヤカーリング大会、三輪車レース大会、
coconスペシャルライブ、手形こいのぼり作成 など

駅南広場(駅前通り)

ジャンケン大会、お楽しみ大抽選会、
社会体験!商店街おつかいウォークラリー など

I・Tビル(西町一丁目)

芸能発表会、お茶席 など

その他

屋台村、レジェンドオブ
ホクトヒーローショー、
演奏会 など

問あやべ丹の国まつり 実行委員会

(綾部商工会議所内)

☎(42)0701

三輪車レースは出場者募集中▶



4月29日～5月3日
午前9時～午後4時

場所: 由良川花庭園(青野町)

あやべ由良川花壇展



▲期間中は福引きや相談会、
工作教室なども行われます

◀チューリップで作るまゆピーの
「でか!花壇(30×40)」も
(写真は完成イメージ)

4月29日

岩づき盆栽教室(10:00～)、菊栽培教室大菊の部(13:30～)、
綾部中学校ブラスバンド部演奏会(9:00～、9:45～の2回)、
園芸何でもオークション(正午～、5月3日も同時刻に開催)、
ツリークライミング(10:00～、正午～、14:00～の3回)など

4月30日

多肉植物寄せ植え・栽培教室(10:00～)、魔法の鉢づくり
教室(13:30～)、綾部高等学校吹奏楽部演奏会(10:00～)、
バルーンアート(13:30～)など

※各教室は4月18日(水)までに申し込み必要

問シルバー人材センター ☎(42)9030

平成30年度 国保料

6年連続 据え置きに



木下会長から答申を受ける山崎清吾副市長

市は2月9日、平成30年度の国民健康保険（国保）の運営について、市国民健康保険運営協議会（木下芳信会長）から答申を受けました。1人当たりの国保料は据え置きで、関連予算案を市議会3月定例会に提出しています。

都道府県化で 府も共同保険者に

国保は市町村ごとに運営され、加入者が保険料を出し合い、安心して医療が受けられるようにみんなで助け合う制度です。しかし近年は、加入者が減少。歳入が減る一方で、医療費などの歳出は増えていて厳しい財政状況に直面しています。このため、府も4月から国保の財政運営の責任主体として国保運営の中心的な役割を担い、制度の安定化を図ります。市では引き続き、保険証などの発行や保険料の決定、保健事業などを担います。手続き等はこれまでどおり市の窓口で受け付けます。

激変緩和により保険料を抑制

平成30年度の保険料は、制



国保の 都道府県化 Q&A

Q. 受診の仕方は変わるの？

A. これまでと変わりません。

Q. 保険証は変わるの？

A. 様式の一部が変わります。一斉更新時期に合わせて3月中に新たな保険証をお送りします。

度改正にあたり引き上げとならないよう、国によって激変緩和策が講じられました。これにより、準備基金の取り崩しを増やすことなく、6年連続で保険料を据え置く目途がつかまりました。

1人当たり年平均の国保料は、医療給付費分や後期高齢者支援金分、介護納付金分を含め、前年度と同額の7万6638円です。詳しくは市民・国保課 ☎(42)4246へ。

善聞 語録



97

「ロボット」の時代!?

「ロボット」とは「ラブ」+「ロボット」の合成語で、感情を持ったロボットのことを言うらしい。人工知能(AI)でロボットが自ら学習し人間に近づこうとした結果、ラブ(愛情)だけでなく喜怒哀楽の感情を併せ持つロボットが近未来に誕生するという。SF映画のような時代の到来も近いということか。

ところで、我が国の労働人口は今後急速に縮む方向にある。第1次ベビーブームと称された団塊の世代(昭和22〜24年生)は計806万人にも及び、今後70歳を迎えて1年あたり25

0万人が労働現場から引退していくことになる。一方で今年、成人した若者は120万人強で戦後の経済成長を支えた世代のおよそ半分。単純に計算すると働きの手が年間100万人以上足りなくなる勘定で、10年単位で見ると1000万人を超える規模で労働市場が縮むことになる。ちなみに一昨年の出生者数は97万人で、100万人を切る水準にまで減っている。

重要なことはこの差をどうやって補っていくのか…。我が国が直面する大きな社会問題の一つであるが、その解決策は限られており、定年延長や外国人労働者の受け入れ、もしくはAI・ロボットの導入による省力化を進めるしかないとも。答えはその合わせ技にあるのであろうが、進化したロボットに人間が使われる時代が現実味を帯びてくる。さらには情を持った「ロボット」と恋を語ることもなるのであろうか…。

山崎善也(綾部市長)

大賞

綾部市長賞

憩いこい
の
汀みぎわ

安達秀敏 (青野町)



特選



綾部商工会議所賞
夏ものがたり 築山忠則 (京丹波町)



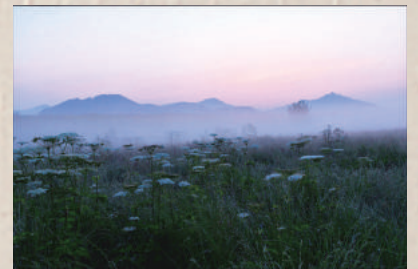
綾部市文化協会賞
何を詠む 梅原隆 (上野町)



京都新聞賞
古への誘い 蕪理忠則 (福知山市)



あやべ市民新聞社賞
嬉し楽し“綾部Life”♪ 藤崎優子 (井倉町)



京都府観光連盟賞
水生園の春 鈴木隆 (岡町)

入賞作品決まる 第17回 あやべ観光写真コンテスト

綾部の魅力や観光資源を発掘し、市内外に広くPRすることなどを目的に開催された「第17回あやべ観光写真コンテスト」(市観光協会主催)。このほど入賞者が発表され、大賞に安達秀敏さん(青野町)の作品が選ばれました。

四季折々の力作集まる

市観光協会(平野正明会長)は「輝くあやべ・再発見」をテーマに、同コンテストを実施し、綾部の景色やイベントなどの写真を募集。市内外の50人から178点の応募があり、大賞1点と特選5点、入選7点選ばれました。大賞、特選以外の入選者は次の皆さんです(順不同、敬称略)。

梅原隆(上野町・再掲)▽門翔大(位田町)▽白木文枝(福知山市)▽阪田清(舞鶴市)▽松岡秀雄(同)▽大澤敏夫(南丹市)▽塩見芳隆(京都市)。

入選作品は、3月末からあやべ観光案内所(駅前通り)で展示。以降、天文館(里町)やあやべ特産館(青野町)など市内各所で巡回展示します。



世界に貢献できる人材育成を 世界連邦市民学習会

世界連邦市民学習会が2月12日、並松町の市民センターで開かれました。綾部世界連邦運動協会（鹿子木且夫会長）主催。京都学園大学非常勤講師の矢野裕巳さんは講演でトランプ米大統領のエルサレム首都宣言など揺れる中東情勢について分かりやすく解説。イスラエルとパレスチナの若者に対話の機会を与える中東和平プロジェクトの意義や世界に貢献できる人材育成の必要性などについて訴えました。

鹿ヶ谷かぼちゃプロジェクトW受賞

市内産が全国生産量の7割を占める、鹿ヶ谷かぼちゃを使用し商品開発を行った「鹿ヶ谷かぼちゃプロジェクト」。府立綾部高等学校由良川キャンパス、綾部青年会議所、ワークショップサクラティエ、タマヤ株式会社の4者が協働で取り組んだ同プロジェクトが、永井奨励賞を受賞。2月22日に市役所で授賞式が行われました。また、開発されたソフトクッキーが、内閣府等が後援する、ふるさと名品オブ・ザ・イヤー2017「自治体が勧めるまちの逸品」部門で優秀賞を獲得。この日、表彰状が伝達されました。



セブンイレブンと高齢者の見守り協定

市は2月15日、府、舞鶴市とともに株式会社セブン-イレブン・ジャパンとの間で、「中丹ふるさとを守る活動に関する協定」を締結。この協定により、店舗等での高齢者の見守り活動が行われ、異変があった際には市が連携して対応します。



あやべ トピックス



障害がある人もない人も つながり合えるまちを —

府内初となる「手話言語の確立及び多様なコミュニケーション手段の促進に関する条例」の施行を前に、同条例検討委員会が3月3日、里町の中丹文化会館で「いま、つながり合おう」と題して市民向け講演会を開催。ニュースキャスターの辛坊治郎さんによる講演と同条例の理解を深めるためのパネルディスカッション＝写真＝が行われました。



綾部に愛着と誇りを — 市長のふるさと講座

山崎善也市長が市内の中学校で、卒業を控えた3年生を前に「市長のふるさと講座～はばたく君へのメッセージ～」を開催。綾部の歴史や文化などとともに、夢に向かって努力することの大切さなどを伝え、ふるさとに愛着と誇りを持って頑張ってもらいたいとエールを送りました。（写真は2月21日、物部町の何北中学校で）